

プログラム

8月3日(土)

9:30～9:35 開会式挨拶

長谷川民子 (萌生会大道クリニック 栄養課)
梶田 裕子 (原泌尿器科病院 栄養科)

9:35～10:05 大会長講演

座長：長谷川民子 (萌生会大道クリニック 栄養課)
梶田 裕子 (原泌尿器科病院 栄養科)

「保存期CKD(慢性腎臓病)食を美味しく食べる大切さ」

演者：梶田 裕子 (原泌尿器科病院 栄養科)

「腎栄養管理に携わった25年を振り返り、未来へ」

演者：長谷川民子 (萌生会大道クリニック 栄養課)

10:05～10:55 一般演題 □演 1

座長：松永 智仁 (医療法人 永仁会 永仁会病院 腎センター)
荒木久美子 (特定医療法人 桃仁会病院 栄養部)

O1-1 コロナ禍前後における当院での栄養指導の状況—取り組みと今後の課題—
本荘 裕美 (医療法人社団平生会 宮本クリニック)

O1-2 維持血液透析患者における栄養状態とフレイルの関連
黒川 典子 (武庫川女子大学 食物栄養科学部 食物栄養学科)

O1-3 当院NST介入患者における腎不全患者の栄養状態の傾向と対策
塩貝貴久子 (兵庫医科大学病院臨床栄養部)

O1-4 NRI-JHで栄養指標低下を示す透析患者の特性評価と多職種連携での取り組み
高野 佳那 (社会医療法人愛仁会 井上病院 栄養管理科)

O1-5 NRI-JH標準版と簡易版での比較～筋肉量との関連性について～
大釜 健広 (医療法人社団クレド さとうクリニック)

O1-6 NRI-JH (Nutritional risk index for Japanese hemodialysis patients: 日本人血液透析患者の栄養リスク指数) の透析条件設定への応用の可能性
加藤亜輝良 (倉田会えいじんクリニック)

11:10～12:10 **エデュケーションalseminar** 共催：アストラゼネカ株式会社

「CKDとカリウム ～切っても切れない関係～」

座長：佐藤 稔（労働者健康安全機構神戸労災病院 総合内科/腎臓内科）

演者：森 克仁（大阪公立大学大学院医学系研究科腎臓病態内科学）

12:30～13:20 **ランチョンseminar 1** 共催：協和キリン株式会社

「厳格管理とテナパノルが導くリン管理の新時代」

座長：吉矢 邦彦（原泌尿器科病院 透析センター長）

演者：駒場 大峰（東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学）

13:35～14:25 **特別講演**

「POST-COVID19時代の栄養管理に必要な臨床力」

座長：長谷川民子（萌生会大道クリニック 栄養課）

演者：雨海 照祥（滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科）

14:35～15:40 **一般演題 □演2**

座長：長沼 俊秀（大阪公立大学 泌尿器病態学）

中嶋 美佳（医療法人社団清永会 矢吹病院 健康栄養科）

O2-1 間歇補充型 HDF (iHDF) の栄養状態改善効果

菅沼 信也（医療法人社団菅沼会 腎内科クリニック世田谷 人工透析内科）

O2-2 透析患者の Myostatin 血中濃度は骨格筋の量と質を反映する

矢野 彰三（島根大学）

O2-3 透析治療モードが筋肉量に及ぼす影響

溝口 彩水（藤田医科大学病院 臨床工学部）

O2-4 CKD教育の新たな道筋：中学生親子の知識の関連を明らかにする

中村 純子（新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科）

O2-5 慢性腎臓病保存期の長期間食事療法の有無が導入後に与える影響

大津明日美（(医)永仁会 永仁会病院 栄養管理科）

O2-6 保存期CKD患者における低たんぱく食事療法が身体能力に与える影響

加藤 基（(医)永仁会 永仁会病院 栄養管理科）

O2-7 外来透析患者の孤食の有無が栄養状態や食品摂取の多様性尺度に与える影響

藤田 咲彩（公益財団法人ときわ会 常磐病院 栄養課）

O2-8 認知症合併維持透析患者の拒食による低栄養についての検討

大里 寿江 ((医)腎愛会だてクリニック 栄養科)

15:55～16:45 **サテライトセミナー**

共催：小野薬品工業株式会社

「いつも心に運動を ～腎臓病患者さんの運動療法～」

座長：阿部 雅紀 (日本大学 腎臓高血圧内分泌内科学分野)

演者：辻本 吉広 (社会医療法人愛仁会井上病院)

16:45～16:55 **レシピコンテストについて**

プレゼンター：坂本 杏子 (札幌ふしこ内科・透析クリニック)

18:10～19:00 **イブニングセミナー**

共催：メディカルライス協会

座長：榊田 裕子 (原泌尿器科病院 栄養科)

坂井 敦子 (Office SAKAI / 齊藤内科クリニック)

**「各国におけるCKD重症化予防に対する取り組み
～ International workshop on Dietary Therapy for Chronic Kidney Disease 2024
Okinawaに参加して～」**

演者：坂井 敦子 (Office SAKAI / 齊藤内科クリニック)

「CKDの新規食事療法：低たんぱく発酵玄米」

演者：脇野 修 (徳島大学大学院医歯薬学研究所腎臓内科学分野)

「慢性腎臓病の食事療法に関する国際的動向」

演者：渡邊 昌 (東京農業大学客員教授、メディカルライス協会代表理事)

ポスター会場

17:15～17:55 一般演題 ポスター 1

座長：鈴木 一裕（援腎会 すずきクリニック）

- P1-1 腎臓に対する高血圧および高脂肪食の相互作用
Abdullah Fatema Binte（島根大学内科学第三）
- P1-2 Neither TMAO nor TML is associated with atherosclerosis: a cross-sectional study in older Japanese adults
Bhuiya Jubo（島根大学医学部、内科学第3 / 島根大学医学部、臨床検査医学）
- P1-3 維持透析患者における骨折後の修正クレアチニン指数の変化
副田 圭祐（東海大学医学部附属病院 腎内分泌代謝内科）
- P1-4 高齢透析患者に対する訪問栄養指導の一例
成田 愛（医療法人社団 嬉泉会 大島記念嬉泉病院）
- P1-5 103才慢性腎臓病と共に生きる
小岩井雪子（医療法人 元山会 栄養科）

17:15～17:55 一般演題 ポスター 2

座長：大津明日美（永仁会 永仁会病院 栄養管理科）

- P2-1 CKD食事療法入院によるeGFR改善群と非改善群の比較
橋本 彩（医療法人真鶴会 小倉第一病院）
- P2-2 慢性腎臓病（CKD）患者の摂取栄養量とフレイルの有無の関連性
川久保幸子（江戸川病院 栄養科）
- P2-3 京都で腎臓が悪くなる人を一人でも減らしたい ～地域ぐるみでの腎臓病療養指導士の活躍～
荒木久美子（特定医療法人 桃仁会病院 栄養部）
- P2-4 血液透析患者の栄養スクリーニング～NRI-JHを運用して～
古橋 亜希（医療法人社団 優仁会 さなるサンクリニック）
- P2-5 日本における腎臓病患者が療養生活をよりよく過ごすための心構え
飛松 聡（昭和学院短期大学 ヘルスケア栄養学科）

8月4日(日)

9:00～9:50 一般演題 川上賞候補演題セッション

座長：脇野 修（徳島大学大学院医歯薬学研究部 腎臓内科学分野）
坂井 敦子（Office SAKAI / 齊藤内科クリニック）

- K-1 当院における透析後疲労の頻度と栄養状態との関連について
真野 純（医療法人あかね会 大町土谷クリニック 透析室
医療法人あかね会 大町土谷クリニック リハビリテーション室）
- K-2 透析間体重増加量に対する血清Na値が及ぼす影響
小林 恵（(医) 埼玉会埼玉草加病院 栄養管理部）
- K-3 高リン血症を予防する新規リン代謝調節因子の同定と解析
東 彩生（徳島大学大学院・医歯薬学研究部・応用栄養学分野）
- K-4 維持血液透析患者における食事性酸負荷と生命予後についての検討
田中 舞（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座）
- K-5 一般検診におけるインドキシル硫酸の測定 ～野菜摂取の重要性～
金子真理子（岩手医科大学附属病院 血液浄化療法部）

10:10～11:30 シンポジウム

「腎臓病療養指導士の実績～保存期から透析期へつなぐ～」

座長：阿部 雅紀（日本大学医学部内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野）
土井 悦子（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 栄養部）

- 講演① 腎臓病療養士とともにいるCKDチーム医療～医師の立場から～
阿部 雅紀（日本大学腎臓高血圧内分泌内科）
- 講演② チームで取り組む腎臓病療養指導 ～薬剤師の立場から～
木村 健（兵庫医科大学病院 薬剤部）
- 講演③ 腎臓病療養指導士の活動報告 ～看護師の立場から～
芝原 陽子（原泌尿器科病院）
- 講演④ FROM-J研究から始まったCKD重症化予防への取り組み
坂井 敦子（Office SAKAI / 齊藤内科クリニック 管理栄養士）

11:30～11:50 総会

12:00～12:50 **ランチョンセミナー2** 共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス

**「栄養・運動・抗疲労からアプローチする透析患者の健康寿命延伸
—亜鉛の重要性—**

座長：脇野 修（徳島大学大学院医歯薬学研究部 腎臓内科学分野）

演者：辻本 吉広（社会医療法人愛仁会井上病院）

13:05～13:55 **教育講演**

「CKD診療ガイドライン2023に基づく栄養管理～低たんぱく質食事療法の考察も含め～」

座長：北島 幸枝（東京医療保健大学医療保健学部 医療栄養学科）

演者：細島 康宏（新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座）

14:10～15:00 **一般演題 □演3**

座長：大道 武史（萌生会大道クリニック）

大里 寿江（腎愛会だてクリニック 栄養科）

03-1 透析液マグネシウム濃度が異なる透析液を使用した患者の血清マグネシウム濃度の変化

加藤 基子（倉田会 えいじんクリニック）

03-2 透析患者のテナパノル塩酸塩錠による下痢と塩分摂取量の関係

高橋 朗（暁生会脳神経外科病院 透析センター）

03-3 透析患者のGNRIに影響を及ぼす要因

野澤 奏（医療法人社団一陽会服部病院 臨床工学室 / 医療法人社団一陽会服部病院 看護部）

03-4 自施設における血液透析患者の食事と運動の習慣について

高橋恵理香（医）偕行会 海部共立クリニック）

03-5 進行期CKD症例におけるビタミンC欠乏症についての観察研究

米倉由利子（社会医療法人愛仁会明石医療センター）

03-6 サプリメントの関与するCKD症例 ～サプリメントは安全か？～

吉矢 邦彦（原泌尿器科病院 腎臓内科）

15:00～15:20 **各種表彰：川上賞、レシピコンテスト**

15:20～ **閉会式**